

未来会議だより

令和 8 年 9 月 1 日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(TEL711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議

検索



--令和 8 年 8 月 1 日(土)・2 日(日)--

延 500 名超が支えた！

子どもの心弾む盆踊り



8 月 1 日と 2 日の両日、ひのまる公園で「第 4 回ひのまる公園盆踊り」が開催されました。栄東地区の子どもたちが伝統行事に触れ合う機会をつくり、思い出とともにふるさと感じてもらおうと、栄東地区まちづくり未来会議が始めたイベントです。5 月 20 日の伝統行事復活プロジェクトに始まり、8 月 3 日の後片付けに至るまで、延べ 575 名の地域ボランティアが作り上げた軌跡を追ってみました。



▲高橋・実行委員長(写真左)と
片山・実行副委員長(写真右)



▲開会のあいさつをする
菊地・未来会議代表

過去最大の子ども盆踊りの輪。

笑顔がはじけた 2 日間

8 月 1 日と 2 日には約 3 千人の子どもたちが会場を訪れました。保護者を含めれば、約 7 千人がひのまる公園を埋め尽くしました。令和 5 年に 30 年ぶりにひのまる公園での盆踊りを復活して以来、その盛り上がりは年々高まりつつあります。

盆踊りを開催しても、市内各地では、踊りの輪に入れない子どもが多いと言います。栄東地区では、輪が次第に広がっており、当初のねらい通り、確実に成果が表れていると言えます。踊りに夢中な、弾けるような子どもたちの笑顔がなんとも素敵です。 ▶優しくお菓子を手渡すスタッフ



変わり盆踊り・盆ダンスで会場が盛り上がる

ひのまる公園盆踊りのプログラムは、第 1 回から北海道ならではの「子ども盆踊り」と大人向けの「北海盆踊り」の間に、ポップな曲調の「盆ダンス」を挟む構成としています。

栄東地区では通年で延べ 20 数回の「盆踊り教室」を開催しており、伝統的な盆踊りに加えて、ポップな歌謡曲やディスコサウンド、クリスマスソングまで、様々な曲で盆踊りを楽しんでいます。

講師の保坂史郎さん、井上久代さんを中心に、盆踊り教室のみなさんが盆ダンスを大いに盛り上げてくれました。親子で踊りの輪に入って楽しそうに踊る子どもの姿に、暑さの中、長時間踊りを先導したみなさんも疲れを忘れたことでしょう。 ▶大人向け盆踊りも充実



北海盆踊りのフィナーレに会場の大拍手

北海盆踊りは、何ととっても北海道の盆踊りの定番です。最後のプログラムとして約 45 分間、藤野佳代さんとそのお弟子さんたちの迫力ある太鼓演奏が踊りを盛り上げてくれました。北海道盆踊り普及連合会、盆踊りを楽しむ会・四季のみなさんも駆け付け、踊りを先導してくれました。

まだ子ども盆踊りの輪よりも小さいですが、みなさんの思いや熱意が、やがて北海盆踊りの大輪をつ

くってくれることでしょう。最後の太鼓の乱れ打ちの後、思わず会場から湧き起こった大拍手は、ひのまる公園ならではの感動を広げてくれました。

ボランティアの熱い思いと

手づくりで大成功を導く

ひのまる公園盆踊りの成功の秘訣は、ボランティアの一人ひとりの熱い思いと、それぞれの経験やノウハウを生かした手づくりによる運営です。

7月31日には、機材の保管場所を提供して下さっている嶋田久昭さんの倉庫で、3台のトラックに重いテント、机、椅子、発電機など必要な備品を積み込みました。翌8月1日の早朝にはひのまる公園に運び込み、数時間で会場を完成させました。櫓は、みずほ町内会の高橋節雄会長が資材を提供し、そのリーダーシップで迅速に立ち上げていただきました。会場の各コーナーの看板や投光器等の照明設置には、栄東連合町内会交通部長の山田豊さんの経験やノウハウが生かされています。



早朝からトラックの膨大な資材を降ろし会場設営スタート



手際よく要の櫓を組む様子



テントに見やすく看板を設置

暑さの中、子どもたちのために、栄東地区福祉のまち推進センターがスーパーボールやヨーヨー釣りコーナーを、社会福祉法人麦の子会が輪投げコーナーをそれぞれ運営してくれました。

子どもにとって夏のイベントの定番である綿あめやかき氷は、栄中央第一町内会と中学生が運営を担ってくれました。ビール・飲料コーナーは、栄東連合町内会女性部と地区内の単位町内会が中心となりました。吹き出す汗と格闘しながら、美味しい焼き鳥やた

こ焼きなどを提供していただいたのは、栄東地区青少年育成委員会の皆さんです。

会場設営、会場警備、撤収に延べ90名の人員を派遣して下さった社会福祉法人とらくろは、運営において最大の力を発揮してくれました。照り返しの強い丘珠空港通り横断の見守りは、栄東地区交通安全母の会が中心となって実施しました。会場で大量に出るごみの対応は、ひのまる公園ラジオ体操会のみなさんに担っていただきました。

さらには、様々な町内会の皆さんが近くの事業所への配慮や駐車場対策に尽力し、地区内の郵便局の皆さんは各コーナーで各団体をサポートしてくれました。子どもたちへのお菓子購入には、87団体・個人から多くの協賛金が寄せられ、お菓子には地域の優しい気持ちが込められていました。

こうして参加していただいた団体とボランティアの一人ひとりの熱い思いと献身在、盆踊り開催になくてはならない支えでした。大規模なイベントであるにもかかわらず、設営や運営について企業への委託を一切行わない、手づくりの盆踊りであることが最大の特徴です。「第4回ひのまる公園盆踊り」の成功は、参加されたみなさんのおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。さあ、第5回の開催に向けて、またスタートです。



それぞれの持ち場を担う皆さんの姿に、

すべてを地域の手で作り上げる

栄東地区ならではの強い絆と誇りが表れています。